

【平成30年度矢口小学校授業改善プラン】

算数科における平成29年度の授業改善推進プランの検証

<p>取組における成果と課題</p> <p>成果</p> <p>授業で学び合いの時間を大切にした学習過程を工夫したことで、「数学的な考え方」に関する力が伸長した。</p> <p>課題</p> <p>「技能」や「知識・理解」、「関心・意欲・態度」もバランスよく向上させること</p>
--

算数科における内容別・観点別分析

内容別結果の分析	数と計算	量と測定	図形	数量関係
	第4学年は区平均を上回り、第5学年と第6学年は前年度の校内平均からそれぞれ下回った。	第4学年は区平均を上回り、第5学年と第6学年は前年度の校内平均からそれぞれ下回った。	第4学年は区平均を上回り、第5学年と第6学年は前年度の校内平均からそれぞれ下回った。	第4学年は区平均を上回り、第5学年と第6学年は前年度の校内平均からそれぞれ下回った。
観点別結果の分析	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
	第4学年は区平均を上回り、第5学年と第6学年は前年度の校内平均からそれぞれ下回った。	第4学年は区平均を上回り、第5学年と第6学年は前年度の校内平均からそれぞれ下回った。	第4学年は区平均を上回り、第5学年と第6学年は前年度の校内平均からそれぞれ下回った。	第4学年は区平均を下回った。第5学年と第6学年は前年度の校内平均からそれぞれ下回った。

授業改善のポイント

<p>分析を受けて、取り組む柱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な技能の確実な定着。 ・問題を正しく読み取り、自分が考えた解決方法を説明することができる力の育成。 ・既習事項を活用して問題を解決することができる力の育成。
--

算数科の授業改善策

<p>●中学年・高学年共通●</p> <p>〈基礎的な技能の確実な定着〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で、必ず適用問題に取り組む時間を確保し、学習した内容を定着させる。 ・区学習効果測定や東京ベーシックドリル診断シート、本校独自の計算力定着度調査の結果を基に、学習カウンセリングや授業等を通して、自主学習での個人の課題解決を図っていく具体策を考えさせる。 <p>〈問題を正しく読み取り、自分が考えた解決方法を説明することができる力の育成〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度に応じて話し合い活動を工夫し、分かったことや、考えたことを自分の言葉で説明することを通して、確かな力としていく授業の在り方を校内研究で深め、全校で実施する。 ・授業の流れの中で学び合いの時間を大切に、児童が多様な解決方法を知ってよりよいものを選んでいける授業展開を図る。 <p>〈既習事項を活用して問題を解決することができる力の育成〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数コーナーに本時の問題を解決するための手掛かりとなる既習事項を掲示し、見通しを立てたり説明したりする際に児童が活用できるようにする。 ・ノート指導を充実させ、既習事項を振り返る習慣を身に付けることができるようにする。 <p>●中学年●</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを文・図・式などを用いて整理し、友達に説明することができるようにする。 <p>●高学年●</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習内容を活かしながら課題に取り組み、問題を解決する力を身に付けることができるようにする。
--

平成30年度の成果と課題

<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
--